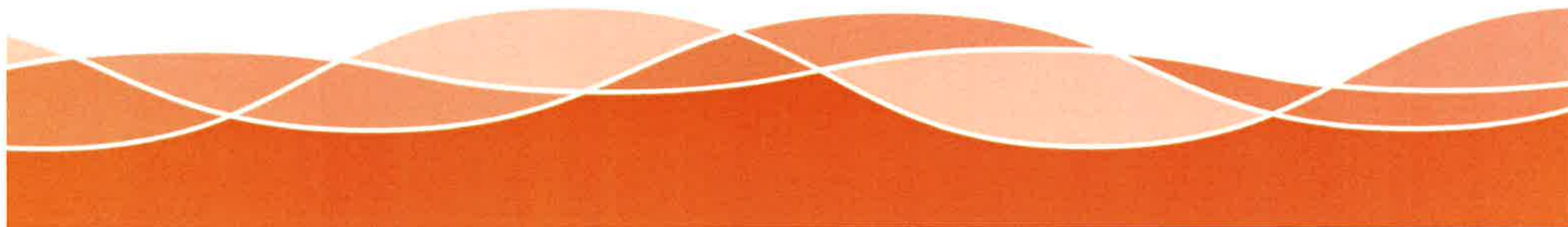


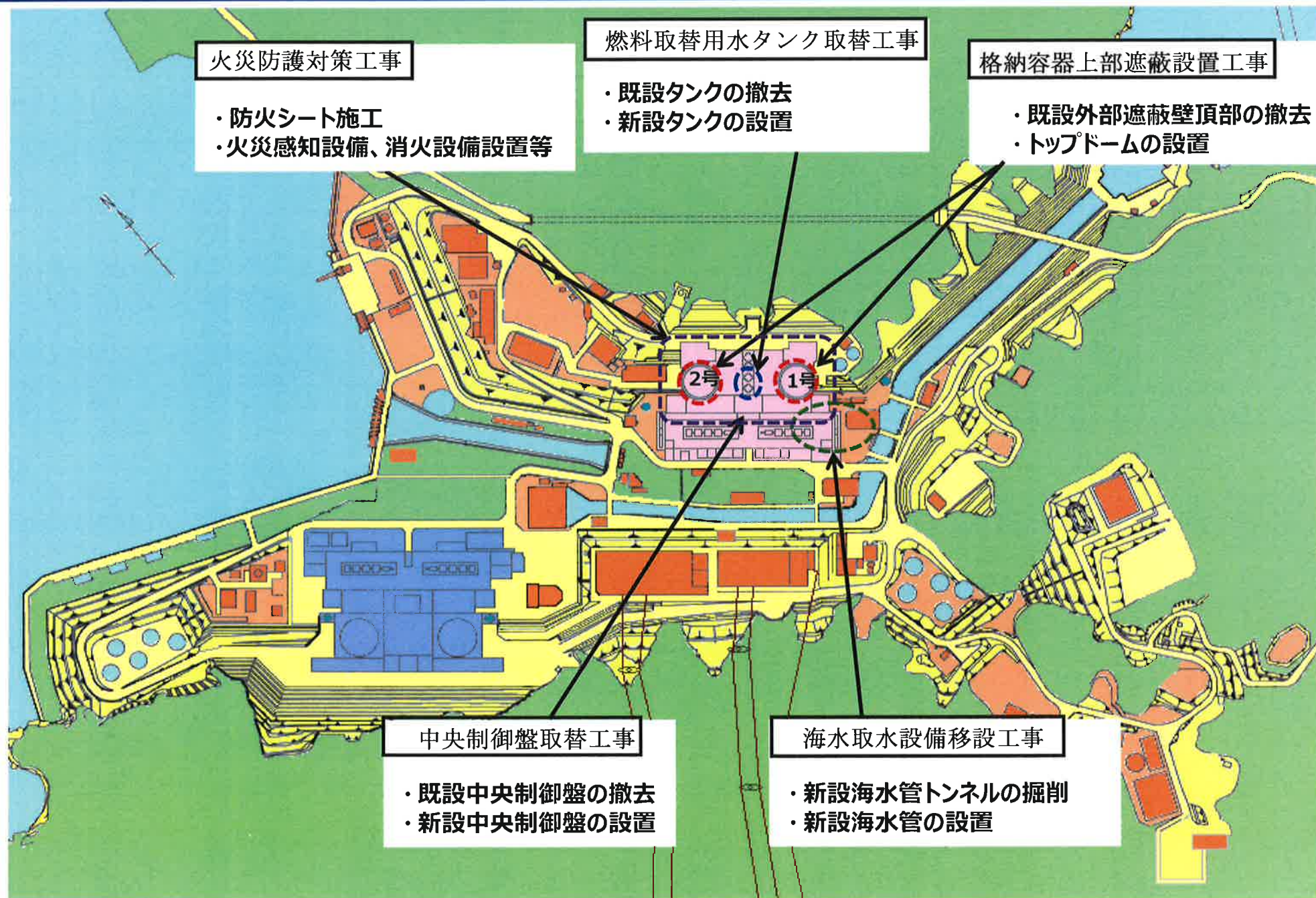
高浜発電所1号機および2号機の 60年までの運転に向けた 安全性向上対策工事の計画について

平成28年9月8日



高浜1、2号機の主要な安全性向上対策工事の工事場所

1



高浜1、2号機の主要な安全性向上対策工事の工程

2

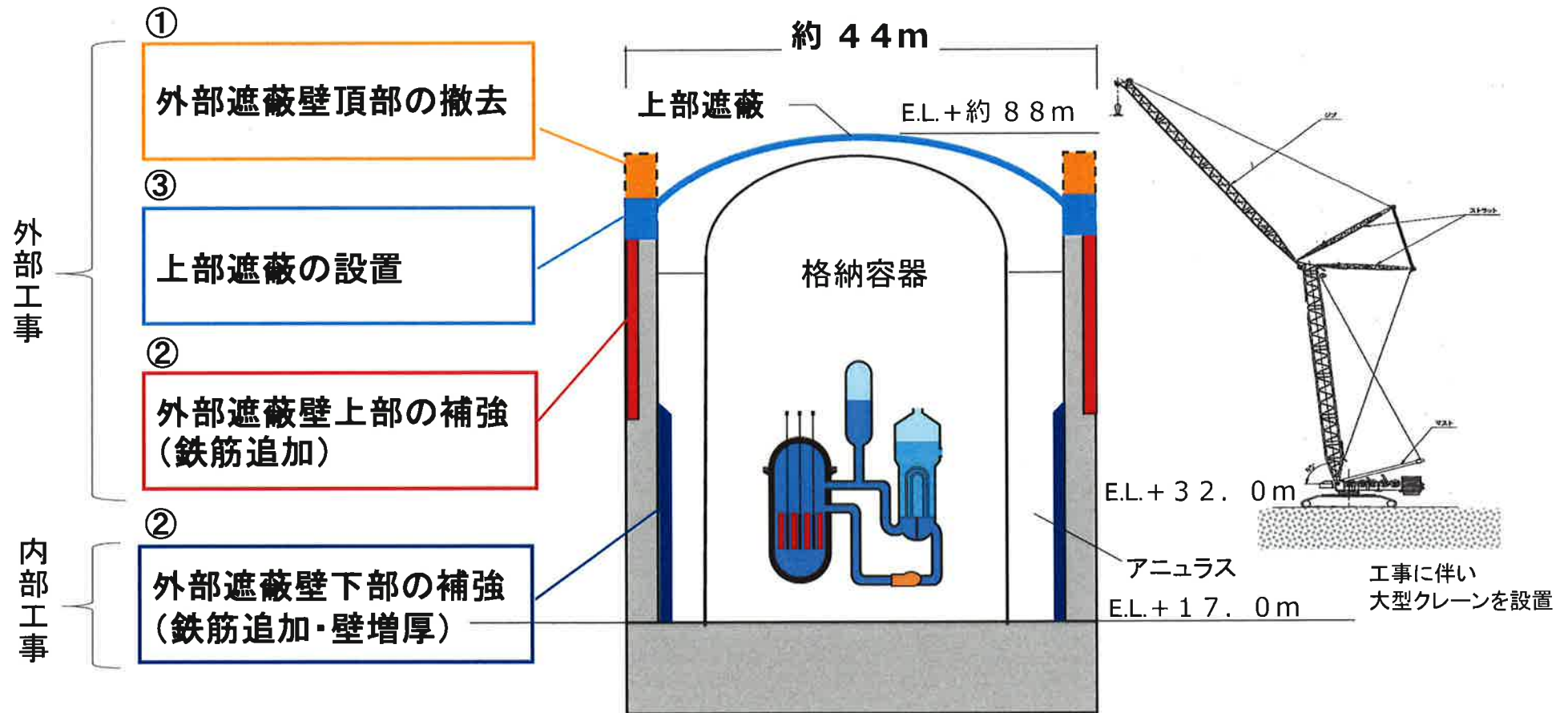
工事件名	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
格納容器上部遮蔽設置工事		H29.2 既設コンクリート壁の補強、トップドームの設置など		H31.8(1号機) (2号機はH31.11)	
燃料取替用水タンク取替工事	H28.9 既設タンクの撤去	新タンクの製作、基礎コンクリート補強など		新タンクの設置 H31.8 タンク廻り竜巻防護壁設置など	
火災防護対策工事	H28.9 難燃ケーブルへの引替、防火シート施工、火災感知設備、消火設備設置など		中央制御室下ケーブル引替	H31.8	
海水取水設備移設工事 (2号機のみ)		H29.5 岩盤内トンネル掘削、配管設置など		H32.3 海水取水エリア竜巻防護壁設置など	
中央制御盤取替工事			H30.4 既設制御盤撤去、新制御盤設置など	H31.8	

- 格納容器上部にドーム状の鉄筋コンクリート造の遮蔽を設置する。
- 外部遮蔽壁の増厚ならびに補強を実施する。

①外部遮蔽壁頂部の撤去

➡ ②外部遮蔽壁の補強

➡ ③上部遮蔽の設置



○板厚を増厚した燃料取替用水タンクを新規製作し取り替える。タンク取替に合わせて、基礎コンクリートを補強するとともに直径を太くした基礎ボルトに取り替える。

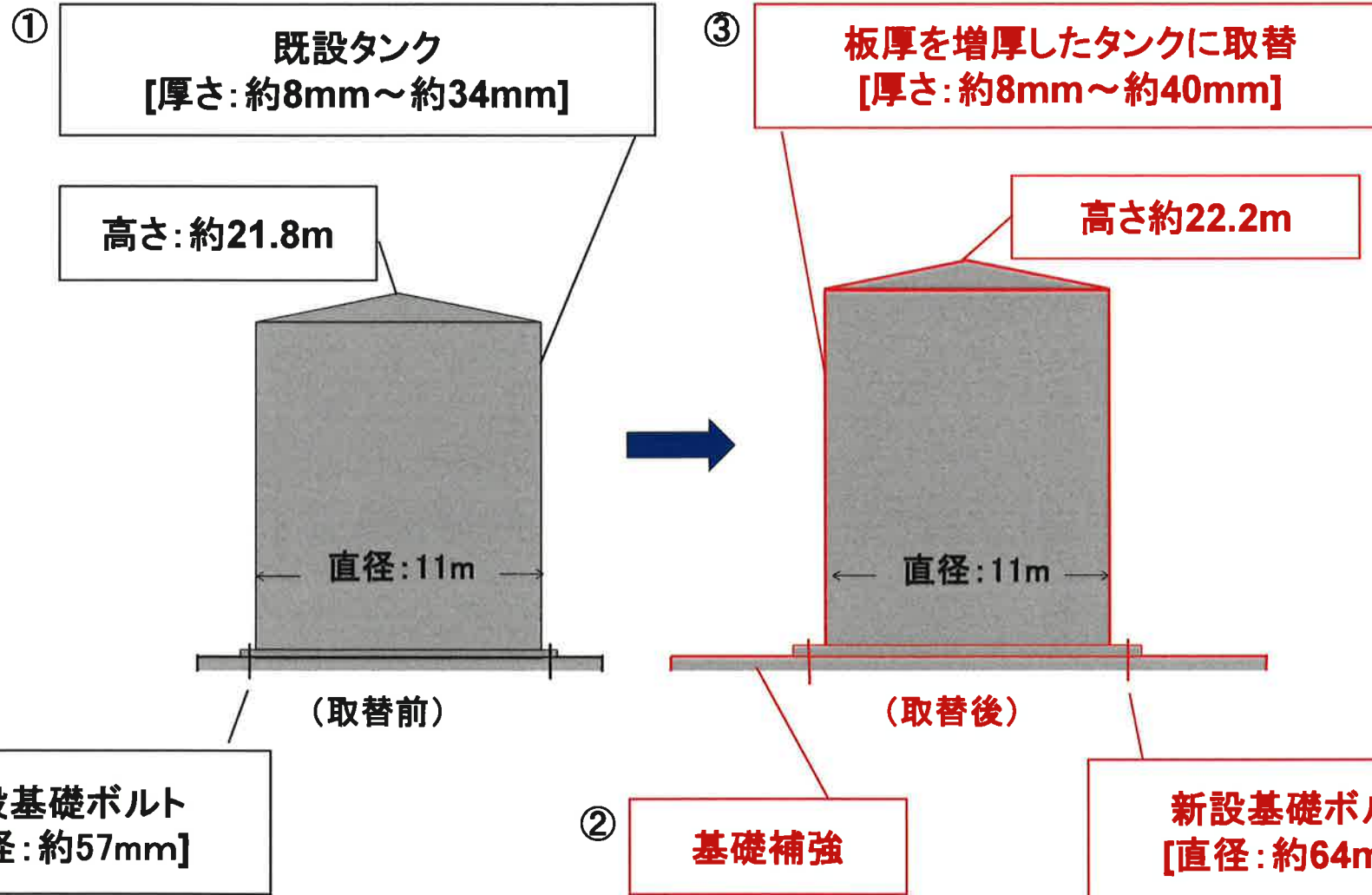
①既設タンクの撤去



②タンク基礎の補強

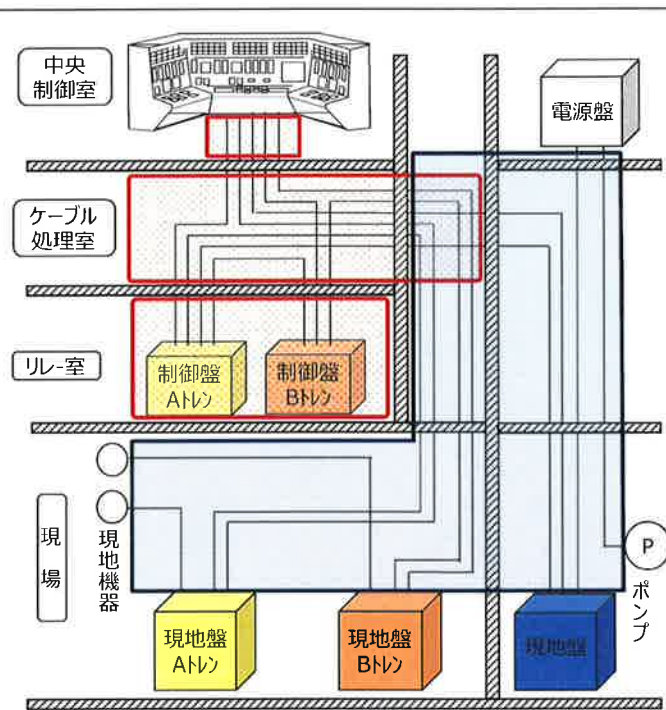


③新設タンクの製作、海上輸送、設置



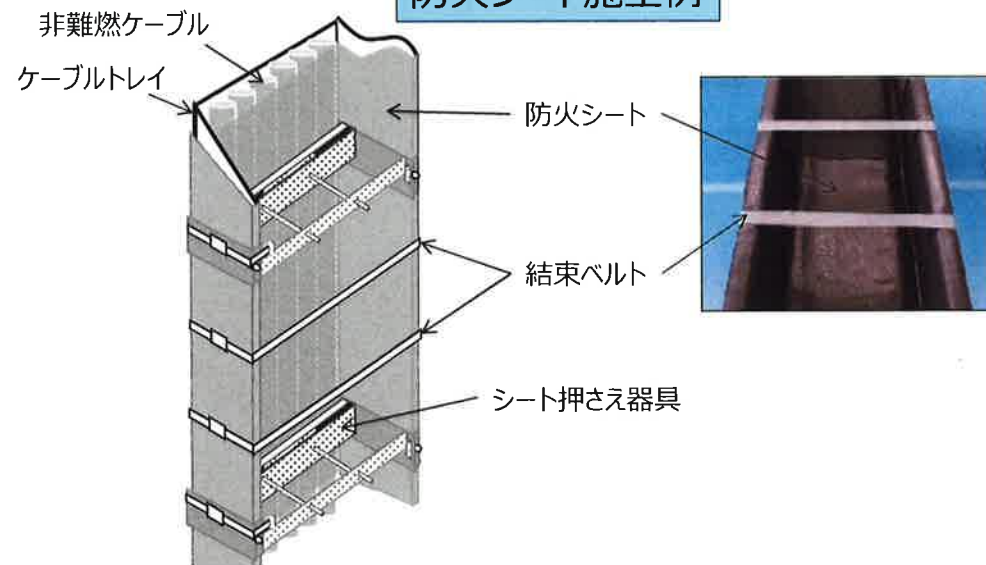
- 安全機能を有する機器に使用されている非難燃ケーブルについては、難燃ケーブルへの引替えや不燃材の防火シート施工による防火措置を実施する。
- 火災の影響軽減のため、異なる種類の火災感知器やハロン消火設備、スプリンクラー等を追加設置する。

ケーブルの防火措置範囲

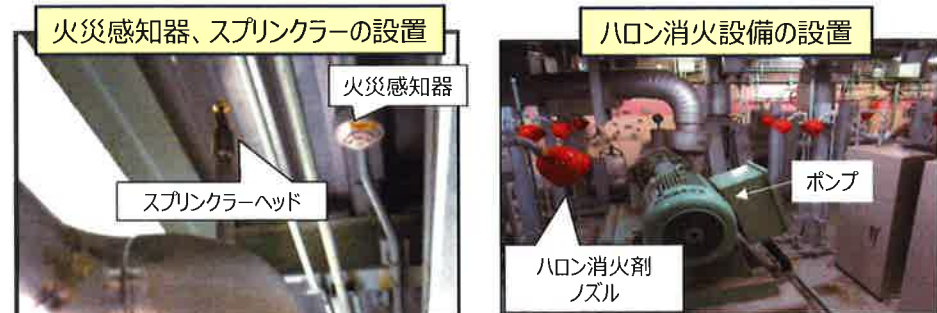


- 難燃ケーブルに引替え
- 非難燃ケーブル使用箇所について防火シートを施工

防火シート施工例



火災感知器、消火設備設置例



海水取水設備移設工事(2号機のみ)の概要

6

○強固な地盤内に海水管敷設用のトンネルを掘削し、新たな海水管を設置する。

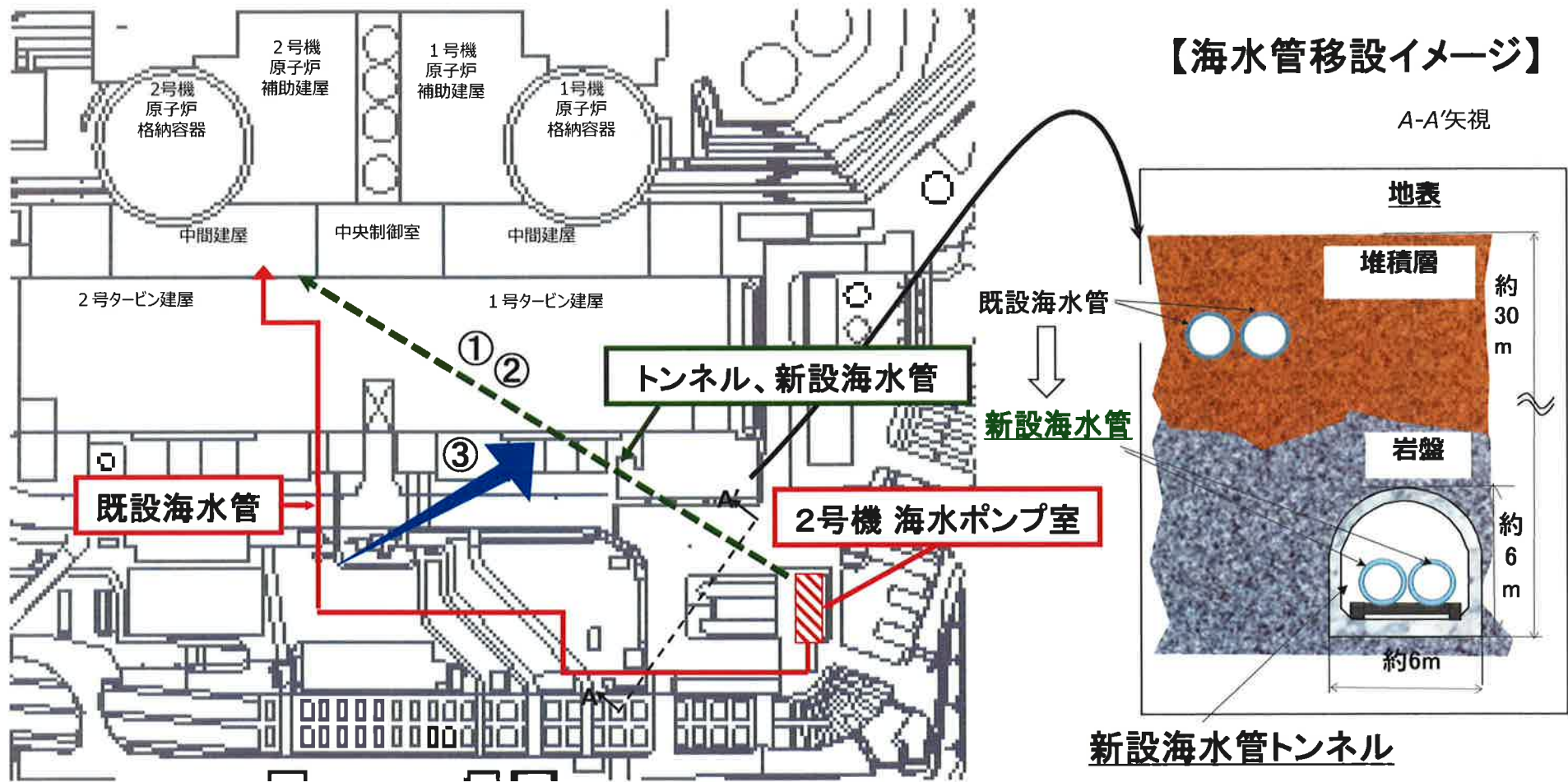
①新設海水管トンネルの掘削



②新設海水管の設置



③新設海水管へ切替え



— : 既設海水管ルート

- - - : 新設海水管ルート案(海水管トンネル)

▨ : 海水ポンプ室

- 中央制御盤をアナログ式から最新のデジタル式の操作・監視盤に取替えを行い、大型表示装置やディスプレイ(タッチパネル)での操作や監視をできるように変更する。
- 操作指令や監視データの信号を伝送する非難燃ケーブルを難燃ケーブルに引替える。

①既設中央制御盤の撤去等



②新設中央制御盤の設置



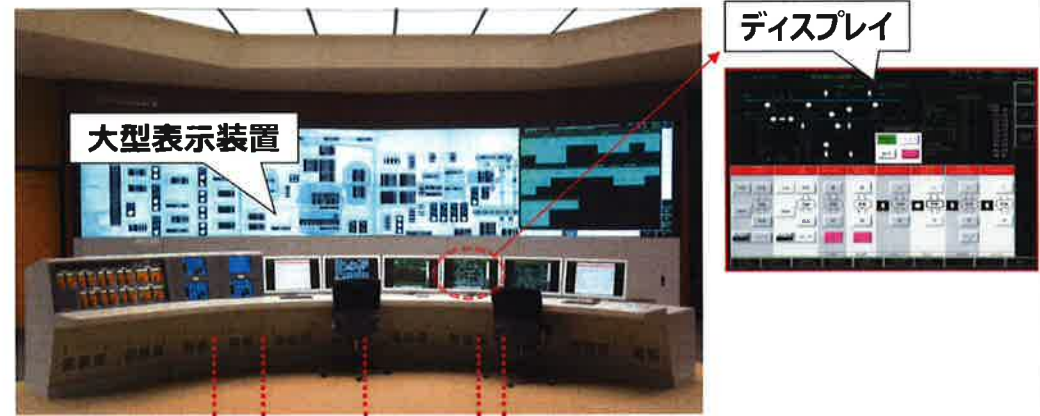
③ケーブルの敷設、接続

中央制御盤更新の概要 (イメージ)

① 既設中央制御盤 (アナログ式)



② デジタル式中央制御盤



③

 今回の工事範囲

中央制御盤更新時に引替える信号
ケーブル長さ：約660km

